

# 令和5年11月 教育委員会 定例会 会議録

## 1 日時

開 会 令和5年11月9日(木) 16時00分  
閉 会 令和5年11月9日(木) 17時00分

## 2 場 所

保健センター 集団検診室

## 3 出席した教育長及び委員の氏名

教育長 影 山 吉 則  
委 員 早 瀬 芳 宏  
委 員 岩 本 秀 一  
委 員 大 西 稚 子

## 4 欠席した委員の氏名

委 員 平 田 賢 弘

## 5 会議に出席した職員の職氏名

教育部長	櫻 井 貴 志
学校教育課長	今 藤 康 之
指導室参事	本 所 章 宏
生涯学習課長	上 山 昭 二
図書館長	阿 部 博

## 6 会議録作成のため指名された職員の職氏名

学校教育課企画総務係長 渡 邊 純 一

## 7 会議録署名

教育長 影 山 吉 則  
委 員 岩 本 秀 一

## 開 会 （16時00分）

### ◎影山教育長

ただいまから、令和5年11月伊達市教育委員会・定例会を開会いたします。

平田委員から欠席する旨の連絡がありましたので、ご報告いたします。

本定例会の会議録署名委員は、岩本委員を指名いたします。

本日の議事日程は、お配りしたとおりです。

本日の会議に付す事件は、議案第1号から報告第2号までの4案件です。

お手元に配付した議事日程のとおり進め、その後、各課からの事業報告を受けてまいります。

なお、議案第1号、報告第2号につきましては、人事などに関する案件ですので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開として進めるとともに、報告第2号については関係部課長以外にも退出していただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### **議案第1号の非公開案件は、原案のとおり承認される。**

### ◎影山教育長

それでは、議案第2号について、各担当課長から提案理由を説明いたします。

### ◎上山生涯学習課長

5ページをお開きください。「児童生徒文化・スポーツ振興事業補助金」になります。こちらにつきましては、10月23日にダブルダッチ全国大会で優勝し、世界大会出場が決まったことから、予算が当初の見込みから不足することとなったため、11月に開催されます伊達市議会臨時会にて補正予算を計上するものです。

6ページをお開きください。「だて歴史文化ミュージアム運営管理委託料」をご説明いたします。先程配付いたしました資料をご覧ください。この資料に基づき11月2日開催の伊達市議会全員協議会においてミュージアムの通年開館について説明をいたしました。内容についてですが、まず、だて歴史文化ミュージアムは令和元年に開館をしております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大防止等を理由として令和2年度より12月から2月までを冬季臨時休館としてきたところです。

今回、次の理由により令和5年度から通年開催としたいものでして、1点目はだて歴史文化ミュージアムの開館時間および休館日を定めた条例第6条におきまして、ミュージアムの休館日は月曜日と年末年始とされており、冬季休館はあくまで臨時的の措置であること、2点目は冬季臨時休館をする主な理由でありました新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したこと、よってアフターコロナの取組を行っていく必要があること、3点目は、世界文化遺産の北黄金貝塚の冬期間の公開活用および情報発信があります。北海道・北東北の縄文遺跡群につきましては、北海道・北東北の4道県に所在する13市町17か所の遺跡が連続したひとつの示唆をなすものとして世界文化遺産に登録されたところです。しかしながら、各自治体が設置するガイダンス施設15か所のうち、北黄金貝塚情報センターのみが12月から3月まで冬季休館となっており、冬期間の普及啓発事業や周遊観光事業の取組が課題となっていたところです。こうした状況を改善するために、北黄金貝塚情報センターの冬期間代替施設として、だて歴史文化ミュージアムの通年開館を再開し、北黄金貝塚や

世界文化遺産に関する展示を行うことによって、冬期間のガイドンス機能を確保したいと考えたところです。冬期間にかかる費用ですが、今年度、だて歴史文化ミュージアムを冬季開館した場合、約2,100千円の増を見込んでおり、一方、仮に北黄金貝塚情報センターを冬季開館した場合は約4,000千円の増が見込まれるため、だて歴史文化ミュージアムを冬期間開館した方が費用が少なくなると見込んでおります。

なお、資料にあります冬期間の入込客数についてですが、他の世界文化遺産の関連施設においても低調であるといったところが課題であります。このことは青森県の三内丸山遺跡やウポポイでも例外ではありません。冬期間の外交促進につきまして、関係自治体と連携を深め一体となって推し進めていく必要があるため、伊達市においてもだて歴史文化ミュージアムを有効活用してガイドンス機能を通年にわたり維持することで誘客促進に取り組んでいきたいと考えております。

議案書に戻りまして、補正予算の説明をさせていただきます。だて歴史文化ミュージアム運営管理委託料について、先程ご説明しましたとおり冬期間開館にかかる電気料等の増額分として2,068千円を増額するものです。

#### ◎今藤学校教育課長

7ページをご覧ください「伊達小学校校舎改築事業」についてです。こちらは新校舎建設に伴い、令和6年度に旧校舎の取壊しを計画しております。取壊しには国の交付金を活用しますが、令和5年度の国の予算において前倒しでの事業を実施することから、200,000千円を計上するものであります。

次に、8ページ、9ページの「小学校及び中学校校舎冷房設置事業」についてです。こちらは、児童・生徒の夏季期間中の教育活動における健康を守るため、小学校、中学校、義務教育学校の普通教室等にエアコンを設置するもので、小学校費、中学校費合わせまして314,721千円を計上するものです。

#### ◎阿部図書館長

10ページをご覧ください。「地域振興基金積立金」になります。こちらにつきましては、9月27日に株式会社ローヤル様より図書館整備時の児童図書購入費に充ててほしいとのことで寄附をいただいたことから、地域振興基金に積み立てするものです。

11ページをご覧ください。「図書館整備事業」になります。こちらは、新図書館建設に向けて、基本・実施設計業務を行うことから予算計上するものです。内容は基本・実施設計のほか、地盤調査や現況測量等の経費も含まれておりまして、総額が48,125千円となっております。また、委託期間が令和5年度と令和6年度の2年度にまたがるため、今回については前払い金分として14,400千円を計上しております。

#### ◎上山生涯学習課長

12ページ、13ページをご説明いたします。こちらにつきましては、カルチャーセンターと総合体育館の指定管理料の増額補正となっております。原因としましては、協定締結時の電気料よりも現在の電気料が高騰していることから、不足する部分について増額補正するものとなっております。

#### ◎今藤学校教育課長

次に、14ページ「大滝区修学旅行支援補助金」から17ページ「レイクカウチン親善訪問団交流事業」までの4事業につきましては、既に事業が完了し事業費が確定したものと、予算執行の目途が立った事業について不用額となる6,599千円を減額補正するものであります。また、18ページ「大滝基幹集落センター運営管理費」につきましては、灯油単価及

び電気料金の高騰に伴い、不足が生じる見込みであることから、総額561千円を計上するものであります。

説明は以上です。

◎影山教育長

議案第2号について、質疑はございませんか。

◎岩本委員

小学校のエアコン設置について、設置校にありませんが、伊達小学校の設置についてはどのようになっているのでしょうか。

◎今藤学校教育課長

伊達小学校につきましては、現在改築工事中ですが、フロアに設置するように設計しております。

◎早瀬委員

エアコン設置について、工期は年度内になるのでしょうか。

◎今藤学校教育課長

今年度に予算措置、入札を行い、令和6年度の早い時期に工事を完了させたいと考えております。

◎影山教育長

他に、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

お諮りいたします。

議案第2号については、原案のとおり承認することとしてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

議案第2号については、原案のとおり承認されました。

それでは、報告第1号について、指導室参事から説明いたします。

◎本所指導室参事

報告第1号「令和5年度全国学力・学習状況調査の伊達市における調査結果について」をご説明いたします。別添資料「令和5年度全国学力・学習状況調査調査結果のポイントについて」をご覧ください。

それでは、資料3ページをご覧ください。ここからは、結果の概要についてお示ししております。今年度は中学校の英語が3年に一度の実施となっております。結果につきましては、小学校においては国語・算数ともに全道平均を上回っており、全国平均と比較しましても、昨年度よりも改善が見られ同等に近い点数となっております。中学校では、国語・数学・英語において全道・全国の平均正答率を下回っています。

続いて4ページ以降には、平均正答率の全国との差をグラフでお示ししております。小学校では、国語・算数のどちらの教科においても上昇が見られております。中学校では、国語・数学・英語の3教科で前回よりも下回っております。今年度の中学3年生に関しましては、以前にもご説明させていただきましたが、小学校時代から学力に不安があり、伊達市学力テストからも、小学3年生の時に、成績がグッと落ち込み、そこから数年間、しばらく低迷が続いている傾向がありました。小学校低学年における学力の基礎・基本の定着が非常に大切であり、その傾向が表れた結果となっております。

6 ページでは、併せて行っております「児童生徒質問紙調査」および「学校質問紙調査」の結果から、北海道の調査結果のポイントに合わせて、掲載しております。児童生徒質問紙調査結果から、⑤「家で自分で計画を立てて勉強している」児童生徒は小学校では昨年度より3%上昇し、全国と比べても6.9%上回っております。一方、中学校では昨年度よりも8.2%、全国平均からも4.7%下回っており、この辺りが成績にも影響しているのではないかと推測されます。

7 ページ以降は、各教科に関する調査の結果をお示ししております。ここでは、問題ごとの正答率で比較し、全国平均よりも10%以上高い正答率を黄色で、無回答率が10%以上のものを青で示しております。小学校では、無回答率の内容は国語・算数を合わせても一つなのに比べて、中学校では問題も難しくなっており、無回答率が増加しております。なかでも、国語における自分の考えや読み取ったことを明確にして自分の考えを記述する内容や、数学でも図形の証明を記述する問題で、無回答率が高くなっています。

続きまして12ページ以降は、児童生徒が質問紙により回答した内容と、学力との相関関係を示すクロス集計の結果をお示ししております。色付きになっている部分は、全国平均の正答率よりも高くなっている部分でございます。どのような状況・状態の子が、学力が高いまたは低い傾向にあるか、という分析結果となっております。例えば「早寝早起き朝ごはん」に関わる質問では、朝食を毎日食べていない子、起床時刻、就寝時刻が整っていない子であるほど、正答率が低くなっております。一方、13ページ「家で計画を立てて勉強している」児童生徒ほど、正答率が高くなっています。

その他の資料もございますが、すべて説明すると長時間となってしまいますので、それ以外の部分に関しては、資料をご参照いただければと思います。なお、こちらの資料につきましては、今後、準備が整い次第、市のホームページ等で公表していくこととなります。大変雑駁ではございますが、以上、令和5年度全国学力・学習状況調査の報告とさせていただきます。

説明は以上です。

#### ◎影山教育長

報告第1号について、質疑はございませんか。

#### ◎岩本委員

今年度の中学3年生は、小学校時代から学力に不安があったとのことですが、中学校で底上げできなかったこと、特に英語の落ち込みは残念に思います。また、クロス集計のところですが、読書している人が明らかに学力が高いということがはっきりしているので、読書習慣が大事だということがわかります。英語について、対策はどのようにしているのでしょうか。

#### ◎本所指導室参事

分析したところ、書く問題について苦手意識が強い傾向がありました。そもそもの単語のスペルも書けない子が多かったということで、英語に興味を持ってもらうようにいろいろ取り組んでいますが、英語で自分を表現したり、説明をするところが非常に難しかったということでしたので、授業で取り入れていかないと、どんどん難しくなっていくというのは感じたところです。

#### ◎岩本委員

伊達市の教育は、小学校は良くても中学校に行くと落ちる学年があって、良い改善策があればと思います。

◎本所指導室参事

先程、読書の話をしていましたが、新聞を読んでいますかの結果も顕著に出ているので、物を読んだり、自分で考えたりというところの力は日常的に取り入れていく必要があると考えております。

◎大西委員

出題される問題について、例えば、数学の問題にしても国語力も無いと解けないような問題を出してきている印象があります。

◎早瀬委員

今は記憶力というよりも、考える力の方にシフトしているので、そういう問題が増えていられるのでしょうか、それができないと良い点数が取れなくなっているのだと思います。ちなみに、学校の朝読書は今も行っているのでしょうか。

◎本所指導室参事

今も行っています。

◎岩本委員

クロス集計からは、ICT機器を使うのは役に立つと思いますかの質問に、役に立たないと思うとの意見も相当数あり、あまり上手く活用できていないのかなとも思います。

◎本所指導室参事

協働的な学び、みんなで一緒にひとつのものを作ろうという取組の時にICTを使って書き込んでというのは有効と考えており、上手く表現できない子も打つことで表現できるというところはすごく良いところだと考えております。一方で知識・技能のところでは、まだまだ弱いところで、ノートの書きの指導とICTの指導をどこで効果的に使えるのかというのを教師の方も考えてやらないと思います。

◎影山教育長

他に、質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎影山教育長

報告第1号については、報告として受理することとします。

**報告第2号の非公開案件は、受理される。**

◎影山教育長

次に、各課から事業報告があります。

〔各課から事業報告を行った。〕

◎影山教育長

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

これをもって、令和5年11月伊達市教育委員会・定例会を閉会いたします。

閉 会 （17時00分）